



# 『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄(かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712

ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>

Eメール [hiroei@muc.biglobe.ne.jp](mailto:hiroei@muc.biglobe.ne.jp)

## 蝸牛角上(かぎゅうかくじょう)の争い。固唾(かたず)を呑(の)む

【蝸牛角上の争い】◇つまらない争い、狭い世界での争い。

・「蝸牛」はかたつむり。かたつむりの左の角(つ)に国を持つ触氏と、右の角に国を持つ蛮氏とが、互いにその角の上で領地争いをした、という寓話から。

【固唾を呑む】◇事の成り行きに、息をこらしてじっと見守る様子。

6月19日投票の船橋市長選挙で、藤代孝七市長が3選されました。皆様方のご支援に感謝いたします。私は、市政報告会や駅頭、選挙事務所の当番等でも応援しました。6月議会は市長選挙があり、6月27日開会と例年より遅くなり、現在真っ只中です。

今開会中の議会の報告をします。本来、4年の任期がある議長・副議長と各常任委員会等の委員ですが、船橋市議会では、過去の取り決めにより半分の2年任期となっています。さらに、議長は1年交替が慣例となっています。



今回はその改選の議会となっており、いつも通り、時間と光熱費の浪費と体力の消耗となるポスト争奪の『蝸牛角上の争い』での幕開けでした。徹夜議会を避けるため2年前と同様に今回は、初日の27日に議長と副議長、2日目に各常任委員等の選出をすることになりました。

この顛末(てまつ)を時系列にご報告します。

《6月27日》午後1時に開会。市長から議案の提案説明があり、一人の議員から質問と行政側の答弁の後、慣例により議長が辞職しました。そして、午後2時30分から休憩に入りました。この休憩中に議長選出のため、裏での駆け引きが行われます。保守系が一本にまとまらないと他党に持っていかれてしまうということで、保守系4派の代表たちが鳩首会談を行います。



議長には最低3期以上の議員しかねないという悪しき慣習があります。私は、実力さえあれば誰でも議長になってもいいと思いますが、各派の長老議員たちの頭の中には「・・・がまだやっていない」等とそれぞれの思惑があり、私

たちの思いはなかなか通じません。長年議員をしていると誰でも議長になれる雰囲気です。

いろいろ駆け引きや恫喝(どくわ)らしきこともあったようで、情けない限りですが、4時間かけてようやく保守系は1本にまとまりました。

長い休憩が終わり本会議が再開したのは、午後6時20分です。この間、保守系以外の議員と『固唾を吞んで』行政側は待っているのです。結果は多数派工作の成果(?)により保守系から議長が誕生しました。その後、副議長も同様の経過で午後9時過ぎに初日が終わりました。

〔6月28日〕保守系議員は午前9時30分に招集がかかりました。この日は、監査委員(2名)・農業委員(4名)・四市複合事務組合議会議員(4名)・千葉県競馬組合議会議員(1名)と議会運営委員長の重要ポストと、5つの常任委員会の委員長と副委員長の椅子の争奪戦を行う日です。

本会議は、午後1時の招集でしたが、保守系議員は事前の打ち合わせのために早く招集がかかったのです。



重要ポストが欲しい人が多くて、なかなか調整がつかえません。もっとも保守系だけで決められるわけはありませんので、ここでは候補者ということになります。現在の議員数は保守系4派が2名多いので、本議会で多数決になれば勝てるという前提にたつての行動です。



例によってなかなか調整がつかず、午後5時5分にこの日初めての本会議開会となりました。それも「議事の都合により休憩します」という言葉だけで、また休憩となりました。廊下を行ったり来たりする足音が聞こえたり、ヒソヒソ密談したりする姿がありましたが、各派代表者だけの打ち合わせをして調整をはかって、ようやく午後8時に全員協議会が招集され、監査委員と農業委員の無記名投票が行われました。他の重要ポストは7月1日に行われます。

午後9時35分に再度本会議が招集されましたが、常任委員会のメンバーを決定する等だけで5分で終わりました。

その後、常任委員会に分かれて委員長と副委員長を選出して、午後10時25分にこの日の全日程が終了しました。



なお、私は、文教委員会の副委員長、議会運営委員会委員、広報編集委員になりました。仕事を精一杯頑張ることは当然ですが、並行して、悪しき慣習を改めるべく同期の議員と力を合わせて議会改革を進めてまいります。